

# 平成30年度 災害時外国人住民支援事業 実施報告

香川県国際交流協会では、地震などの大規模災害発生に備え、災害時に外国人住民を支援するボランティアの育成のための研修や、外国人住民への防災啓発のための訓練などを実施しています。今年度は、香川県からの受託事業として、11月と2月に、以下の研修・訓練を実施しました。(2月の訓練は高松市と共に)

## 1. 災害時通訳ボランティア研修(英語)

実施日:11月4日(日)



講師:多言語  
コミュニティ通訳  
共同代表  
飯田奈美子さん

2月の訓練に先駆け実施した通訳の研修では、コミュニティ通訳としての専門知識や経験が豊富な講師を迎えて、通訳をする上での注意点や、通訳の倫理等について学んだ後、避難所内や相談窓口などの災害時の場面を取り上げた通訳トレーニングを行いました。

ロールプレイでは、通訳者、外国人被災者、そして行政窓口担当者等の「3者間」でのコミュニケーションという設定のもと、被災者役の外国人スタッフと一緒に、英語での通訳を実践しました。



## 2. 外国人住民のための防災訓練

実施日:2月3日(日)

高松市在住の外国人の方を対象とした防災訓練には、11か国19名の外国人の皆さんのが参加! 高松市北消防署や、災害時に避難所となる高松市総合教育センターを見学した後、高松市防災合同庁舎で、高松市で起こる災害に関する講義を受けたり、災害に関する日本語を学んだりしました。

[参加者の国籍:中国、ベトナム、アメリカ、アルゼンチン、インド、カザフスタン、スペイン、トルコ、フィリピン、ブラジル、マラウイ]

バスツアー



消防服の試着



バスに乗り込んで出発~

救急車や消防車を見学



長期保存ができる水、ビスケット、魚の缶詰、電気がなくとも調理できるアルファ米などで昼食~

多言語で119番通報



高松市の災害についての講義

避難所を地図で確認

かるたで災害関連語彙チェック

## 3. 災害時における多言語情報伝達訓練

実施日:2月3日(日)

熊本地震など、これまでの災害多言語支援センターで実際に行われた活動を疑似体験しました。通訳や翻訳に重点を置いた今回の訓練には、中国人3名を含む計33名が参加しました。

午前中はグループ内で役割を分担し、災害情報の多言語化や、作業の進捗状況の確認、データ入力などを行いました。また午後からは、高松市で災害が発生し、避難所に避難している外国人住民のもとへ、支援者(行政職員・通訳)が聞き取りを行うため訪問するという設定で、外国人参加者が行っている防災訓練に合流し、11月の通訳訓練に引き続き、3者間の通訳を実践しました。



講師:NPOタブマネ  
理事 柴垣禎さん

### 多言語支援センター活動訓練



非常食いただきます!

### 避難所巡回通訳訓練



### 感想

- ・実際の状況に近い設定で訓練したことで、具体的な動きが分かってよかったです。
- ・日ごろから行政のサービスや、災害に関する知識を蓄えておきたい
- ・外国人に対して防災訓練を実施しておく必要性を感じた。